令和4年8月31日

福祉会館3階第二集会室

# **株式会社オオバと市とのミーティングメモ**

**（参加者）**

考える会：Ｏ、Ｋ、Ｗ、Ｋ、Ｎ、Ｓ、安竹（小平市議・記）

(株)オオバ：Ｋ

小平市：市（水と緑と公園課・課長）、市（水と緑と公園課・課長補佐）、甚野（水と緑と公園課）、真子（公共工事担当課長）、高橋（道路課・設計担当係長）

**（資料）**

* 市民ワークショップを開催しました（A3）
* （仮称）佐川合気公園整備計画案平面図
* 考える会へ確認事項（220602 小平市工事担当部署も加えた協議にて）への回答
* 提案に伴う小平市への引継ぎ事項
* 顕彰碑概算見積
* 小平市佐川合気公園園名碑デザイン案
* 鬼瓦利用三つのアイディア
* 上水南町二丁目～諸施設配置図（案）～

**（注）**

このメモはなるべく正確に記載したつもりですが、小平市と株式会社オオバに内容を確認したものではありません。

**（発言要旨）**

**Ｓ**

* （これまでの経緯について説明）
* 「考える会」の活動のひとつのポイントは公園の面積について。

当初の３区画売却から現在は１区画売却まで来ているが、我々としては売らないで済ませたい希望もある。

* + Ｏさんがたくさん寄付してくださるかもしれない方にこれからお願いに行く。
	+ 第三弾ふるさと納税が行われている。
	+ 設計でかかる費用を見て、もう一度、売る／売らないを検討してもらうことになっている。
	+ 我々としては、お金のかからない公園を作ってほしいという希望もある。
	+ お金のかからない公園づくりができれば、売らないで済む、そういうことになるとありがたいということもあり、可能な限り費用の削減もしたいという希望がある。
* もうひとつは公園のプランについて。
	+ 住民アンケートとワークショップを経て作成した案を市に提出した。
	+ あい造園設計事務所の鈴木さんがボランティアでつくってくださった。
	+ 鈴木さんがコンセプトの補足説明を作って下さるとのことなので、できたらまた送ります。

**Ｏ**

* 佐川先生の足跡を残したい。
* 木の配置が風水にもとづいて植えられて大切にされていた。
* 黒チョウトンボなど珍しい生き物もいた。
* 自然が残っているところで憩える公園に。

**Ｎ**

* 道場跡は園路とは色を変えるなどしたい。境界に石を埋設するのは経年で掘り返されて危険だと聞いている。
* 合気の聖地として後々まで多くの方が訪れると思っている。佐川先生が実際にいらっしゃった場所などを示せれば、有意義な公園になるかと。鍛錬に使われた石も遺すという話になっている。
* 顕彰碑は見積もりを取っている段階。ブロンズ銘版で字が後々まで残る読みやすいものを、佐川先生が稽古をご覧になっていた西向きに置きたいと考えている。9月中旬には文言を提示する予定。

**Ｓ**

* 市作成の諸施設配置図（案）だと、北側を高く段差を付ける関係で、当方から提出した案よりもパーゴラやベンチが北に移動しており、草地広場が狭くなっているのではというところが気になっている。広場を広くとれるように、ベンチなどは減らしてもよいのではという話をしている。
* 日本庭園のところはロープ柵で入れなくなるイメージか

**市**

* 灯篭をどうするかに依存する。灯篭を残す場合は最低でもロープ柵は必要だなと。

**Ｓ**

* 灯篭が高いものと低いものがあるうち特に高いものは撤去したいという話だったが、価値のあるもので佐川先生が残されたものなので、できれば残したい。
* オオバさんの方で灯篭を残すノウハウなどお持ちか。

**オオバ**

* 私たちも日本庭園の経験はそこまでないので、市と決めていただくと。

**Ｓ**

* ロープ柵で灯篭だけ囲う形がよいのではと。日本庭園をすべて囲まれると市民が利用できるスペースが狭くなってしまうので、庭園の中も歩けるような形で残していただけないかと考えている。
* 灯篭については、オオバ社内の他の方にも聞いていただきたいが、こちらでも情報収集してお伝えしたい。

**市**

* 私たちでも調べている。情報がありましたら、公園課の方にもお知らせいただけましたら。

**Ｓ**

* 残していただきたい石については。

**市**

* この前現地を確認しているので、それについてはオオバに連絡をしている。

**Ｓ**

* 橋は現状通り残っていたが、平たい石の場所が動いており、180度回転したような形になっている。できれば元の形に近いように戻していただきたい。動かすのがものすごく大変で、費用が掛かったり壊れてしまうなら今のままで仕方ないが、できれば、佐川先生がこの石の上で修行していたと分かるようにしたいので、元の位置と向きに戻してもらいたいという希望がある。

**Ｎ**

* 佐川先生のことをよく知っている方は、石の上で四股を踏んでみたりするかもしれない。
* しなやかで柔軟な公園というコンセプトなので、使い勝手を固定化するような設置物が少なく、可動性のある柔軟性のあるものにした方がよいのではないか。

**Ｋ**

* 公園、庭園、防災の機能がある。個人的には、ベンチがやたら多いのかなと。
* 公園というよりは記念庭園にしてほしい。
* これからずっと住む近隣の住民としては、子どもがサッカーしたり野球したりしてボールが飛んでガラスが割れたりしないよう、静かな庭園のようにして散策できるような、そういう風にしてほしい。
* 座るベンチも数個でよい、木も植えてほしい。
* どちらかというと治安。
* 知る人ぞ知る、というようなところとしてほしい。

**Ｏ**

* 立派な日本庭園でなくとも、枯山水でもよいので、静かな公園。
* バランスよく木を増やしてもらって、落ち着ける公園になったら。
* 他の公園で荒地になって草ぼうぼうになっているところもあるので、皆さんで維持して行ける公園にしていきたいと。

**Ｎ**

* 本当は伊勢神宮などのような高貴な波動がただようエリアにしたい。そうであれば子どもが騒いだりといったところにはならないと思う。

**Ｓ**

* 住民に親しまれ、誰もが気軽に訪れることができる地域コミュニティの拠点とするというコンセプトがあるので、あまりそれと方向が違う意見を言いすぎるとあれですが…。
* 自治会の防災倉庫が置けるスペースなどという話もある。

**Ｗ**

* 公園なので、皆が集まって来られるコミュニティが形成できる場所であってほしいなと。
* 防災機能をもっているというアピールもできると良い。かまどベンチがあれば、多少の燃料や道具などを防災倉庫に入れておくことも。

**Ｓ**

* 当方から提出した案には防災井戸もあり、今のところは市の方でそういう方針がないということで諸施設配置図（案）には含まれていないが、将来市の方針が変わったときに、そういった井戸が設けられるスペースを設けておいてほしい。

**Ｋ**

* オオバでは公共の公園で井戸をつくられたご経験は

**オオバ**

* いろいろある。都内もあるし関東近県の千葉も埼玉もある。

**Ｋ**

* 防災を目的としたものか。

**オオバ**

* 防災と水景施設のために。

**Ｋ**

* 近隣住民へのアンケートの中でも、かなりの数で防災井戸を希望されていた。
* 公園のデザインされるときに、井戸までも含まれて設計されたか。

**オオバ**

* そうですね。井戸の場合、地下のどの層で出るかを調べる必要があるので、ボーリング調査を市の方でやってもらうか、うちでやるかで、どの層で水を出すかというのをやり、手押しポンプ、電動ポンプ、水の受け皿というところで設計をする。

**Ｓ**

* 将来的に井戸が設置できるようになったらそのスペースがあるように、考慮していただきたい。
* 来年の3月末か4月くらいに近隣住民の方向けに説明会を予定していると聞いている。住民説明会資料も発注内容に入っているようだったが。ただし、その説明会のときに住民の方から意見が出ても反映することはできないということだった。
* そこで12月くらいに、大体こういう形になるという資料を市の方で作って住民に配布してくださるとのこと。そこで、考える会で意見を集約して、可能な範囲で修正していただくということを考えている。それが12月くらいか。

**市**

* 12月か、年明けくらいか、まだ分からないが。

**Ｓ**

* 時期が分かればお知らせいただきたい。
* 我々の提出したものと全然違うものが最後に出てきても問題というところもあり、今日こういう機会を設けていただいた。不明なところがあれば聞いていただければ、我々としてはこうしたいというところはお伝えできると思う。

**Ｏ**

* 排水のところはきちんとやっていただきたい。

**Ｗ**

* ハザードマップでも低いところ。ひょっとすると、南東のところは床下浸水くらいまでなってしまうかもしれないので、排水も気を付けないといけない気がする。

**Ｏ**

* 井戸と関連するところか。

**Ｋ**

* 井戸は17～18メートルなので、泥水が入るというようなことはない。

**Ｓ**

* 読売新聞に記事が出た。

**安竹**

* ホームページのトップに記事へのリンクを貼ってあるのでご参照いただければ。

**Ｓ**

* 秘伝という雑誌にも情報が出た。
* 市に写真集を差し上げ、中に解説があるので、もしご興味があれば市のほうから回覧していただければ。当時の石の位置が分かる写真があるので、それをご覧いただき、元に戻していただけるとありがたい。

**オオバ**

* いただいた資料も見させていただきながら、市とも相談して進めさせていただく。

**Ｎ**

* 当初のコンセプトに、付近の住民が自分達で作りこんでいけるというものがあった。他人事ではなく自分事として皆んなの公園を発展させていけることができればいいですね。
* ライブで発展していく、段々変化していくような、そういうものがこれからの公園のあり方だと思います。
* 用意された設置物もなるべく少なくしていくと、コストも抑えられていいんではないかな。

**Ｓ**

* 鈴木さんも設置する物は最低限で案をつくってくださったところ。

**Ｗ**

* そんなにベンチがなくても、布を敷いてもらってくつろいでもらってもよいのかなと。それで自由度があっても良いと思う。

**市**

* 段差をつくるところは、土の搬出を抑えて工事費を抑えようという考えに基づいてやっている。付近が狭い道路なので、搬出するとなると小さな車両で何回もというところで金額が割高になる。
* 雨水の排水も、大雨のときはどうしても出てしまうところもあるかもしれないが、極力流出しないようにというところで検討を進めている。

**Ｗ**

* 段差があるのは面白い考え方だなというところもある。

**Ｎ**

* 道は有機的な形だが、段差が直線的で、少し不自然な感じがあるかなと。

**市**

* 道場跡地のところで段差をつくらないという配慮のもと、こういった形態になっている。

**Ｋ**

* 個人的には、園路にそって、北側が高くなってもかまわないというところもある。

**市**

* 西側は土を寄せる形で考えている。
* 西側に水を流せるようなものは現在ない。東側も水路のようなものはない。昔は排水の関係で水路的な扱いがあったところがあるかもしれないが、いまはそういうものはない。

以上